

## 平成 29 年産米の放射性物質検査の結果について(第 1 報)

### 【要旨】

- 平成 29 年産米の放射性物質検査計画に基づき、2 検体について検査を実施した結果、いずれも**不検出**でした（詳細は下表のとおり）。
- この結果を受けて、検査が終了した市町村の平成 29 年産米の出荷・販売・譲渡が可能となりました。

【参考】 29 年産米の検査は、市町村ごとに 10 月中旬まで順次行います。

### 検査結果一覧

No.	生産地	検体作成日	測定値（単位：Bq/kg）		
			放射性セシウム		
			Cs-134	Cs-137	計
1	奥州市	9 月 6 日	不検出 ( $<3.5$ )	不検出 ( $<4.1$ )	不検出 ( $<7.4$ )
2	金ケ崎町	9 月 6 日	不検出 ( $<3.1$ )	不検出 ( $<4.0$ )	不検出 ( $<7.0$ )

(参考) 食品衛生法上の基準値（一般食品）

放射性セシウム（Cs-134 と Cs-137 の計）：100Bq/kg

(注 1) 「測定値」欄の（ ）内は検出限界値

(注 2) 検査機関：(一財) 東京顕微鏡院

(注 3) 測定機器：ゲルマニウム半導体検出器

【参考】 平成 29 年産米の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村

奥州市、金ケ崎町

担当：農産園芸課 水田農業担当

Tel 019-629-5708

<参考>

平成 29 年産米の出荷・販売・譲渡が可能な市町村(9月12日現在)



平成 29 年産米の出荷・販売・譲渡が可能な市町村

奥州市、金ヶ崎町